

令和4年度大阪府泉州医療・病床懇話会 議事概要

日時: 令和5年1月26日(木)午後2時から午後4時

開催場所: 浪切ホール4階交流ホール

出席委員: 12名

河崎委員、鹿島委員、亀山委員、藤本委員、上野委員、松田委員、泉谷委員
武本委員、市川委員、石本委員、泉本委員、辻内委員

出席関係者(圏域内病院関係者): 13名

丹氏、松岡氏、山田氏、破戸氏、竹内氏、尾野氏、長谷川氏、横見瀬氏、
松下氏、倉智氏、馬場氏、植嶋氏、野上氏

■議題1 令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料5】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料5(別添)】泉州二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料1】過剰な病床の状況

【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料3】地域医療構想に関する各種データ HP 公表について

【参考資料4】重点支援区域について

【参考資料5】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)

【参考資料6】医師の働き方改革について

<議題1に対する主な意見・質問等>

【地域医療構想の全体に関する意見・質問等】

(質問)

○コロナ禍において救急医療はひっ迫したため、急性期病床を減らすのは現実的でなく、必要病床数の見直しが必要でないか。今後の見直しの方向性はどのようになっているか。

○資料1スライド13の病床の必要量と、現状の病床数は乖離している状況の中で、病床数は増やせないというのは納得できないため、ご説明いただきたい。

(大阪府の回答)

○地域医療構想の見直しについては 2025 年度に改定する予定であることが国から示されており、数年間の医療状況の動向を注視しながら検討していくことになると思われる。

○府では制度上、病床を増やせない状況。今後、不足することが見込まれる回復期病床については、実際に現状の病床数では足りていないという声があれば、国にも伝えたいと考えている。

(質問)

○資料 2 の 28 ページに、新興・再興感染症等の対応を検討している病院があるが、コロナ対応ではコロナ患者受入れ医療機関だけでなく、後方支援病院、在宅・施設との医療介護連携などアフターコロナ対応医療機関も重要であったので、新興感染症についても、アフターコロナ対応医療機関を評価いただき、体制確保を検討いただきたい。

(大阪府の回答)

○新興感染症について、次年度以降、行政と医療機関で協定を結び役割の整理をしていく動きがある。次の医療計画に向けて、皆様のご意見をお聞きしながら考えていけたらと考えている。

(意見等)

○コロナ禍において救急医療はひっ迫したため、急性期病床を減らすのは現実的でなく、病床数の必要量の見直しが必要でないか。病床数は増やさない方向とされているが、医療費削減ありきで医療体制の構築はしないしてほしい。

○SCR(レセプト出現比)には様々な課題もあり、これをもって地域の医療提供状況の指標とすることには注意が必要である。

○物価高騰のおり、地域医療構想の計画に沿って実施する病院建替え等の建築費用についても、何らかの支援対策を検討していただきたい。

【府の報告基準に関する意見・質問等】

(質問等)

○地域包括ケア入院料は回復期として地域急性期に含まれていると認識していた。急性期か回復期のどちらに入れるかで、回復期のパーセントが変わると思うが、いかがか。

(大阪府の回答)

○報告された診療実績を分析し、地域急性期と重症急性期を分類しており、地域包括ケア入院料は地域急性期には当たる病棟かと思われる。新たな取組として、入院料ごとの病床機能の報告基準を設定しており、基準においては人配置と平均在棟日数により、急性期にあたる場合もある。

(意見等)

○府の報告基準に関して、在院日数は変動が大きいため、基準に含める際には注意が必要ではないか。

○これまでの病院連絡会の合意を得て回復期に転換した病床機能が、今回の府の基準では急性期となることに戸惑っている。

■議題2 令和4年度 泉州二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料2】令和4年度 泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

<議題2に対する主な意見・質問等>

(質問)

○泉州二次医療圏においては、南北で医療体制の格差があり、南部地域の医療体制(急性期・高度急性期、特に救急医療)の充実が必要である。南部地域の状況について、府から正確なデータ出していただき、しっかり検討できるような土壌を用意していただきたいが、いかがか。

(大阪府の回答)

○地域医療構想は二次医療圏を基準としているが、南北で差があるとの状況も踏まえ、議論していきたい。

(意見等)

○脳卒中、心筋梗塞など、救急は時間との闘いであり、地域住民へ質のよい医療を提供するためにも、南北格差を踏まえて、医療体制を検討いただきたい。

○実際に困っていることは、日々、いかにして次の重症救急患者を取るかということ。地域の医療機関にもご協力いただいているが、クラスターが出てたり、満床だったりして苦労している。もう少し柔軟に使える病床が欲しい。

■議題3 令和4年度 泉州二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料3】令和4年度 病院プラン医療機関別一覧(泉州二次医療圏)

【資料4】令和4年度 泉州二次医療圏 病院連絡会結果(概要)

【資料6】非稼働病床の現況について

資料に基づき、市立貝塚病院から説明

合併症・併存症のある高齢者に 24 時間体制で対応するため、急性期一般病床の 4 床を HCU に転換、また、紹介受診重点医療機関の届出を検討している。

【資料3(別添)】公立病院経営強化プラン(市立貝塚病院)

病院連絡会で意見のあった民間病院として、奥村病院から説明

令和5年2月から休床していた 27 床について、療養病床として再開予定。

<議題3に対する主な意見・質問等>

(市立貝塚病院への意見)

○地域包括ケア病棟については、公立病院として、民間病院にはできない取組みを重点的にお願いしたい。

(病院の回答)

○周囲の病院から急性期に近いリハビリ患者を受けており、民間とは違った公立病院としての地域包括ケア病棟を運営していきたい。

■議題4 外来機能報告の報告期限の延長について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【参考資料7】厚労省 外来機能報告制度に関する説明会(令和4年12月)資料

■議題5 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料7】地域医療への協力に関する意向書提出状況(診療所新規開設者)

【資料8】地域医療への協力に関する意向書提出状況(医療機器新規購入・更新者)

■議題6 第7次大阪府医療計画の取組状況の評価について

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明

【資料9】第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理 泉州二次医療圏

<議題4、議題5及び議題6に対する主な意見・質問等>

○意見・質問なし